



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL <https://ifuji.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,182	47.6	1,220	82.6	1,248	81.0	1,027	115.9
2023年3月期第2四半期	8,928	△1.0	668	1.5	689	2.5	475	△10.9

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,054百万円(121.1%) 2023年3月期第2四半期 476百万円(△10.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	124.55	—
2023年3月期第2四半期	57.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,652	9,332	59.6
2023年3月期	13,669	8,430	61.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 9,332百万円 2023年3月期 8,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	14.00	—	21.00	35.00
2024年3月期	—	26.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭 (創立50周年記念配当)

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,865	19.0	1,798	14.1	1,844	14.2	1,440	28.9	174.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	8,345,370株	2023年3月期	8,345,370株
2024年3月期2Q	82,556株	2023年3月期	101,556株
2024年3月期2Q	8,250,845株	2023年3月期2Q	8,223,786株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復傾向にあるものの、円安の進行やウクライナ問題の長期化等に伴う原材料価格やエネルギー価格の上昇による物価上昇の影響等、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

食品業界におきましては、円安や世界的なインフレの影響等により原材料価格や製商品価格の値上げが相次ぎました。また、鶏卵業界では、2022年秋から2023年初頭にかけて発生した過去最大規模の鳥インフルエンザの影響により鶏卵相場の高水準での変動が続きました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、鶏卵相場が大幅に上昇したことや販売価格改定を進めたこと等により前年同期比47.6%増の13,182百万円となりました。

損益につきましては、主に売上高の増加等により連結営業利益は同82.6%増の1,220百万円、連結経常利益は同81.0%増の1,248百万円となり、いずれも第2四半期連結累計期間において過去最高となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、営業利益等の増加に加え、役員退職慰労金の支給により課税所得が減少し法人税等が低く抑えられたことから、同115.9%増の1,027百万円となり過去最高となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①液卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の販売単価及び原料の仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多くあり、鶏卵相場が高く推移した場合は販売単価及び仕入単価はともに高く推移します。逆に、鶏卵相場が低く推移した場合は販売単価及び仕入単価はともに低く推移します。そのため、販売単価と仕入単価の差益の一定額以上の確保と販売数量の確保により利益が最大になるように努めております。

当セグメントにおける売上の指標である販売数量につきましては、前年同期比7.8%減となりました。これは主に、極度の鶏卵不足の中、当社の液卵供給に対し取引条件等を見直した結果、一部の得意先に販売数量の制限を行ったことや新規拡販を控えたこと、また、得意先である食品メーカーにおいて鶏卵使用製品の出荷を制限したことや新商品販売を控えたこと等により液卵の使用量が減少したことによるものであります。

売上高につきましては、販売数量は減少したものの、鶏卵相場（全農東京Mサイズ基準値）が前年同期比+52.4%（+111円/kg）と大幅に上昇したことに伴い、連動する液卵の販売単価も上昇しました。また、賃金や光熱費の値上がりをはじめとする様々な製造コストの増加や、鳥インフルエンザ多発に伴う鶏卵の供給不足による原料仕入価格の高騰、さらに得意先からの要請を受けて極力安定供給に努めるべく輸入卵を含む割高な原料を買い付けたことに伴い、販売価格の改定を進めました。その結果、液卵売上高は前年同期比54.4%増の11,956百万円となりました。また、加工品売上高は、ゆで卵や茶碗蒸しベース等の販売価格の改定や卵白プロテインの販売増等により同32.6%増の458百万円、その他売上高は鶏卵販売の減少等により同47.5%減の167百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同49.6%増の12,583百万円となりました。

セグメント利益につきましては、前述のとおり製造コストの増加や原料仕入価格の高騰に対応するため販売価格の改定を行ったこと、また製造コストの増加に対応するため工場の生産効率の向上や歩留まりの向上に努めるなど、業績を向上させるべく様々な施策を講じた結果、前年同期比86.8%増の1,180百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、原料仕入価格の値上がりに対応するため販売価格の改定を進めたことや、当社グループ内での卵白プロテインの委託加工等の販売増加及び健康食品等の付加価値商品向けの販売が増加したこと等により、前年同期比19.7%増の707百万円となりました。

セグメント利益につきましては、前述のとおり売上高が増加したこと等により同10.8%増の30百万円となりました。

③その他

当セグメントは太陽光発電であり、売上高は前年同期比3.0%減の14百万円となり、セグメント利益は同3.5%増の9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は15,652百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,982百万円増加しました。

流動資産は10,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,001百万円増加しました。主な要因は、鶏卵相場が大幅に上昇したこと、今後の鳥インフルエンザ発生懸念及び冬場の需要期に備えて在庫を積み増したこと等による商品及び製品の増加1,862百万円及び原材料及び貯蔵品の増加950百万円、受取手形及び売掛金の増加335百万円、現金及び預金の減少1,357百万円等によるものであります。

固定資産は5,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の増加137百万円及び機械装置及び運搬具の減少124百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は6,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,080百万円増加しました。

流動負債は5,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,816百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加1,212百万円、支払手形及び買掛金の増加990百万円、未払法人税等の減少178百万円等によるものであります。

固定負債は575百万円となり、前連結会計年度末に比べ736百万円減少しました。主な要因は、長期未払金の減少516百万円、長期借入金の減少222百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は9,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ902百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,027百万円の計上等により利益剰余金が854百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ168百万円増加し2,293百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用された資金は、前年同期に比べ1,793百万円増加し1,742百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上1,247百万円、仕入債務の増加990百万円、減価償却費の計上218百万円等により資金が増加し、棚卸資産の増加2,800百万円、長期未払金の減少516百万円、売上債権の増加335百万円、法人税等の支払い330百万円等により資金が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により得られた資金は、前年同期に比べ366百万円増加し89百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入524百万円により資金が増加し、有形固定資産の取得による支出431百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は、前年同期に比べ1,127百万円増加し816百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加1,160百万円により資金が増加し、配当金の支払額172百万円、長期借入金の返済による支出170百万円により資金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、業績は概ね順調に推移しており、2023年8月9日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,668	2,310
受取手形及び売掛金	3,630	3,965
商品及び製品	643	2,506
仕掛品	89	76
原材料及び貯蔵品	491	1,441
その他	28	236
貸倒引当金	△30	△15
流動資産合計	8,520	10,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,644	1,635
機械装置及び運搬具(純額)	1,158	1,033
土地	1,915	1,915
リース資産(純額)	6	5
その他(純額)	124	257
有形固定資産合計	4,849	4,848
無形固定資産		
投資その他の資産	6	6
投資有価証券	129	171
繰延税金資産	151	83
その他	16	26
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	292	275
固定資産合計	5,148	5,129
資産合計	13,669	15,652
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,272	2,263
短期借入金	960	2,172
リース債務	1	1
未払法人税等	366	188
賞与引当金	183	97
その他	1,143	1,021
流動負債合計	3,927	5,744
固定負債		
長期借入金	708	486
リース債務	5	4
長期未払金	562	46
その他	34	37
固定負債合計	1,311	575
負債合計	5,239	6,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	392	400
利益剰余金	7,607	8,462
自己株式	△65	△53
株主資本合計	8,389	9,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	67
その他の包括利益累計額合計	40	67
純資産合計	8,430	9,332
負債純資産合計	13,669	15,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,928	13,182
売上原価	7,147	10,818
売上総利益	1,780	2,363
販売費及び一般管理費	1,112	1,143
営業利益	668	1,220
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
受取保険金	—	9
受取賃貸料	12	12
その他	10	7
営業外収益合計	24	32
営業外費用		
支払利息	3	4
営業外費用合計	3	4
経常利益	689	1,248
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	689	1,247
法人税、住民税及び事業税	211	163
法人税等調整額	2	56
法人税等合計	213	220
四半期純利益	475	1,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	475	1,027

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	475	1,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	27
その他の包括利益合計	0	27
四半期包括利益	476	1,054
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	476	1,054
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	689	1,247
減価償却費	202	218
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△85
受取利息及び受取配当金	△2	△2
受取保険金	—	△9
支払利息	3	4
固定資産除売却損益 (△は益)	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△180	△335
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△542	△2,800
仕入債務の増減額 (△は減少)	107	990
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12	△81
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△516
その他	△14	△35
小計	272	△1,420
利息及び配当金の受取額	2	2
利息の支払額	△3	△4
保険金の受取額	—	9
法人税等の支払額	△220	△330
営業活動によるキャッシュ・フロー	50	△1,742
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△524	△4
定期預金の払戻による収入	524	524
有形固定資産の取得による支出	△273	△431
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△0	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277	89
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13	1,160
長期借入金の返済による支出	△192	△170
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△131	△172
リース債務の返済による支出	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311	816
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△537	△837
現金及び現金同等物の期首残高	2,661	3,130
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,124	2,293

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,409	503	8,913	15	8,928
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	87	87	—	87
計	8,409	590	9,000	15	9,015
セグメント利益	631	27	659	9	668

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	659
「その他」の区分の利益	9
四半期連結損益計算書の営業利益	668

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,583	584	13,167	14	13,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	122	122	—	122
計	12,583	707	13,290	14	13,305
セグメント利益	1,180	30	1,210	9	1,220

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,210
「その他」の区分の利益	9
四半期連結損益計算書の営業利益	1,220

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
液卵	6,434	—	6,434	—	6,434
凍結卵	1,310	—	1,310	—	1,310
卵加工品	346	—	346	—	346
その他鶏卵関連	318	—	318	—	318
調味料	—	503	503	—	503
その他	—	—	—	15	15
顧客との契約から生じる収益	8,409	503	8,913	15	8,928
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,409	503	8,913	15	8,928

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	液卵関連事業	調味料関連事業	計		
液卵	9,840	—	9,840	—	9,840
凍結卵	2,115	—	2,115	—	2,115
卵加工品	458	—	458	—	458
その他鶏卵関連	167	—	167	—	167
調味料	—	584	584	—	584
その他	—	—	—	14	14
顧客との契約から生じる収益	12,583	584	13,167	14	13,182
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,583	584	13,167	14	13,182

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。